

<事業名>新温泉町こども自然体験

団体名	ジオ sen.s (センテンス) 但馬因幡探求クラブ
所在地	兵庫県美方郡新温泉町
代表者名	福原公一郎

事業内容	<p>当団体は、新温泉町にある豊かな自然を活用した体験イベントを企画し、新温泉町やその近隣市町の親子が自然に親しみ、自然に対する興味関心を育む機会を提供しようと活動をしている。</p> <p>今回は、7/23に但馬牧場公園にて「たじまむしむし観察隊」、7/24に塩谷にて「海の生き物観察会」、8/29に浜坂漁港にて「ウミホタル観察会」、9/22に浜坂サンビーチにて「海の万華鏡作り」、9/27に浜坂先人記念館以命亭にて「紙すきワークショップ」、10/4に八田コミュニティセンターにて「ロケットストロブ作り」、9/5、10/11に浜坂先人記念館以命亭にて「シーグラスアクセサリ作り」、10/25に香美町けび大池キャンプ場にて「秋見つけハイキング」11/8に浜坂先人記念館以命亭にて「ユニランプ作り」、12/6に浜坂先人記念館以命亭にて「リース作り」、2/7に上山高原ふるさと館にて「かんじきハイキング」を行った。</p>
地域	新温泉町、香美町
事業の効果	<p>1 団体（組織）内の効果</p> <p>昨年以上に多くの団体と協働で活動を行うことで、より広がりのある活動になった。今年度は新たに鳥取環境大学の学生を講師に招いての観察会を行い、新たな世代との交流も始まり、次年度以降への繋がりを増やすことが出来た。2年目の自然体験活動ということもあり、地域内での認知度も高まってきているよう感じる。</p> <p>2 地域への効果</p> <p>今年度の活動では、リピーターの参加者も増え、イベント後は、町内のお気に入りのレストランでランチをするなど、新温泉町を楽しんでくれている。豊岡市や鳥取市など、普段は新温泉町を訪れる機会のない方々が、当団体のイベントを通して「こんな近くにこんな素敵な場所があったんですね!」「こんな面白い体験ができるんですね」と、新温泉町の新たな魅力を発見してくれた。</p>

事業経過	年 月 日 令和2年5月1日	「チラシ作成会議」
	令和2年7月23日 AM	「たじまむしむし観察隊」 鳥取環境大学4年大生唯統氏を講師に招き、牧場公園にて虫の観察会を行った。
	令和2年7月23日 PM	「たじまむしむし観察隊」 元々午前中のみで開催予定であったが、応募多数の為、急遽午後 の部も実施した。
	令和2年7月23日 夜	「たじまむしむし観察隊」 夜の部は、牧場公園にてライトトラップを行った。コガネムシ、 クワガタ等多くの昆虫を見ることが出来た。講師は引き続き、鳥 取環境大学4年大生唯統氏。
	令和2年7月24日 AM	「海の生き物観察会」 本庄規氏を講師に招き、海の生き物の観察を行った。昨年度から のリピートも非常に多かった。
	令和2年7月24日 PM	「海の生き物観察会」 元々午前中のみで開催予定であったが、応募多数の為、急遽午後 の部も実施した。
	令和2年8月2日	「海の生き物観察会 上級編」 町内でコロナの感染例が出た為、中止。
	令和2年8月29日	「ウミホタルの観察会」 浜坂漁港にてウミホタルの観察会を行った。最初に資料を使って ウミホタルの生態などの講義を行った。ベイトトラップを仕掛け た待ち時間には、スナガニの観察を行った。講師 松岡千都。
	令和2年9月5日	「レジンアクセサリー作り」 仲山礼菜氏を講師に招き、レジンのアクセサリー作りを行った。 10/11の応募多数の為、この日も行った。
	令和2年9月22日	「海の万華鏡作り」 サンビーチで海藻、シーグラス、貝殻などを採集した後、以命亭 に移動して万華鏡を製作した。講師 松岡千都。
	令和2年9月27日	「紙すきワークショップ」 本多秋香氏を講師に招き、紙すきを行った。今回は木枠を用意し て、漉いた紙をパネルにした。
	令和2年10月4日	「ロケットストーブ作り」 本庄四郎氏他2名を講師に招き、ロケットストーブを製作した。 昼食には、実演も兼ねてロケットストーブで調理した料理を皆で 試食した。
	令和2年10月11日	「レジンアクセサリー作り」 仲山礼菜氏を講師に招き、レジンのアクセサリー作りを行った。 レジンの中には、貝殻や砂、ドライフラワーなどの自然を閉じ込 めた。
令和2年10月25日	「秋見つけハイキング」 岸本文枝氏を講師に招き、香美町ケビを散策した。笹でカゴを作 ったり、木の実を味わいながら、五感で楽しむハイキングを行っ	

	<p>令和2年11月8日</p> <p>令和2年12月6日</p> <p>令和2年12月13日</p> <p>令和3年1月24日</p> <p>令和3年2月7日</p> <p>令和3年2月25日</p>	<p>た。お昼は希望者には近くのジネンアンのピザをテイクアウトしてランチしてもらった。</p> <p>「ユニランプ作りワークショップ」 バフンウニやムラサキウニの骨を使って、ランプを作った。事前には棘皮動物の特徴などについて講義を行い、海の生き物についての理解を深めた。講師 松岡千都</p> <p>「リース作り」 中澤博子氏他2名を講師に招き、ドライフラワーや野草を使用してリース作りを行った。</p> <p>「焚き火で薫製ワークショップ」 町内でコロナの感染例が確認され、調理を伴う活動の為、中止。</p> <p>「竹炭作り」 町内でコロナの感染例が確認され、調理を伴う活動の為、中止。</p> <p>「かんじきハイキング」 山本一幸さんを講師に招き、海上にてかんじきハイキングを行った。子供の年齢層も低く、雨も降っていた為、予定より短いコースに変更して、ゆっくりのペースで歩いた。</p> <p>「精算・実績報告書作成」</p>
<p>協働の相手方</p>	<p>鳥取環境大学4年 大生唯統氏</p> <p>NPO上山高原エコミュージアム 山本一幸氏</p> <p>NPO 但馬自然史研究所 本庄規氏 本庄四郎氏 稲葉 恵由氏</p> <p>元香美町地域おこし協力隊 本多秋香氏</p> <p>町内在住 仲山礼菜氏</p> <p>けびの森クラブ 岸本文枝氏</p> <p>長谷ロミツガシワ湿地保存会 中澤博子氏</p>	
<p>今後の課題等</p>	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>1 団体（組織）の課題 現在、企画立案者に偏りがある。もっと多くの会員からのアイデア、参加者の意見も取り入れて実現していきたい。</p> <p>2 地域の課題 今回、昨年度よりさらに多くの方々が参加してくれた。しかし、意外にも地元新温泉町の子供の参加率が低い。身近過ぎる故、自然への関心が低いのではないだろうか。地道に活動を続けていくことにより、「あそこに行けば何か楽しいことが待っている」「友達が参加しているから、私も行こうかな」というイメージを持ってもらうことで、自然に今まで関心が強くなかった層の方々にも参加してもらえるようにしていきたい。</p> <p>〈令和3年度以降の事業計画〉 今回、リピーターの参加者も増えた。来年度は年間で継続的に同じテーマで事業を行いたい。今回むしむし観察隊を開催したところ、多くの虫好きの子供達が参加してくれた。来年度は年間を通してむしむし観察隊を行うことで、四季の移り変わりで様々な虫に出会えること、同じ興味を共有する仲間づくりに貢献することで、自然との関わりを一回きりではなく、持続的なものにしていきたい。</p>	



令和2年7月23日 夜のむしむし観察隊



令和2年7月24日 海の生き物観察会



令和2年10月11日 レジンアクセサリー作り



令和2年10月25日 秋見つけハイキング